

医学系技術室における教育支援(教育部門以外)

一 研究室支援部門、共通部門、生命科学動物資源センター部門 一

櫻井 秀子、森 敏幸、坂本 順子、大神 明子、梶原 典子、佐藤 晶子

筑波大学医学系技術室

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

1. はじめに(業務体制)

医学系技術室は、教育部門・研究室支援部門・共通部門・生命科学動物資源センター部門の4部門から成り、教育部門は、前述の通りである。

教育部門以外の3部門は、業務内容ごとに担当が分かれている。研究室支援部門は各研究室支援担当・附属病院病理部担当・次世代医療研究開発-教育統合センター担当に区分し、共通部門は組織標本作製担当・医学系電顕室担当・医学情報基盤室担当・工作室担当・医学共通機器室担当・医学安全管理室担当に区分されている。生命科学動物資源センター部門は、飼育管理担当・サービス業務担当の各職務を行っている。これらの担当業務は、専任の技術職員もいるが約6割は兼務をしながら相互に協力し合い行っている。

医学における教育支援は、教育部門が中心となり専任で担当しているが、3部門においても、医療科学類・修士課程・博士課程の学生に対して教育支援の一端を担っているため、医療技術ラボラトリについても含めながら、教育支援について報告をする。

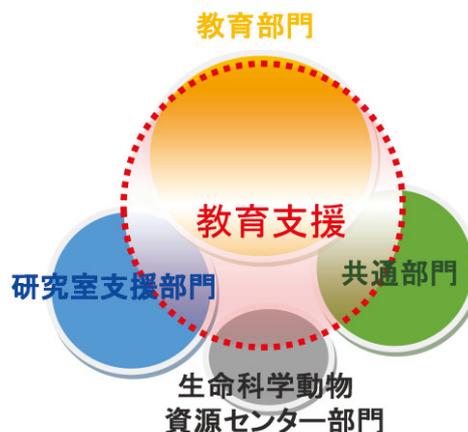
2. 教育支援内容

3部門における教育支援は、部門の専門性を活かしながら担当している。内容的に大きく分けて、(1)医学実習、(2)情報・セキュリティ関連、(3)研究教育関連について行っている。

医学実習においては、医療科学類病理学実習の技術指導、附属病院実習の病理標本作製に関する指導および病理解剖介助方法の説明、大学院生に実験動物(ラット、マウス)の取扱い実習補助、医療科学類や大学院生に対し電子顕微鏡による観察実習の技術的支援、共通機器室における使用機器の管理および機器立ち上げのサポート、また、講義や実習に関連する資料の作成・整理、実習アンケートの集計、学外実習の報告書作成を担当している。

情報・セキュリティ関連では、医学群生専用コンピュータ(クラウドネットワーク)の維持管理および専用サイトの運用、全学教育計算機システム設置の医学・看護サテライト室の維持管理、医療技術ラボラトリの指静脈入退出管理、医学類生のカリキュラム発表用ポスター印刷のサポート、他大学との連携合同演習におけるコンピュータ臨時アカウントの作成や入退出に伴うセキュリティの管理、医学電算機室の維持管理、を行っている。

研究教育関連については、研究室に所属する大学院生に、長期または単発的に経験に基づきながら技術支援を行っている。また、実験動物の管理およびサポート、共通機器室における使用機器の説明、研究室内機器類の使用方法的説明、研究室使用ルールの指導(試薬管理、廃液・感染物の処理等)



(試薬管理・廃液処理・感染物の廃棄など)について指導を行っている。

3. 今後の展望

技術職員数は、年々減少しており、3部門においても同様で将来の展望は厳しいものがある。

長年培った経験に基づく技術力や知識力を、所属する部門で発揮するのみならず教育支援業務にも活用するには、日々効率化等を検討しながら更なる貢献が出来るように邁進していく必要がある。

医学実習

- ・ 医療科学類の病理学実習
- ・ 医療科学類の附属病院実習(病理標本作製、病理解剖介助)
- ・ 実験動物(ラット、マウス)実習
- ・ 電子顕微鏡による観察実習
- ・ 共通機器室における実習関連機器の管理および機器の立ち上げ
- ・ 講義および実習資料の作成・整理、実習アンケートの集計
- ・ 学外実習の報告書作成

情報・セキュリティ関連

- ・ 医学群生専用コンピュータの維持管理、および専用サイトの運用
- ・ 全学教育計算機システム設置の医学・看護サテライト室の維持管理
- ・ 医療技術ラボラトリ指静脈入退出管理
- ・ ポスター印刷の補助
- ・ 他大学との連携合同演習実施時の補助
- ・ 電算機室の維持管理(修士、博士課程の学生も利用)

研究教育関連

- ・ 研究に対する技術的支援(基本的実験操作、専門的技術)
- ・ 実験動物の管理およびサポート
- ・ 共通機器室における使用機器の説明
- ・ 研究室内機器類の使用方法的説明
- ・ 研究室使用ルールの指導(試薬管理、廃液・感染物の処理等)